

1 はじめに、あなた自身のことについてお伺いします。

問1 はじめに、あなた自身のことを教えてください。
(あてはまるもの1つに○をつけてください。)

年齢	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代
	5. 50代	6. 60代	7. 70代以上	
居住年数	1. 5年未満		2. 5年以上10年未満	
	3. 10年以上20年未満		4. 20年以上30年未満	
	5. 30年以上			
居住形態	1. 持ち家(戸建※)		2. 持ち家(マンション)	
	3. 借家(戸建※)		4. 借家(賃貸マンション・アパートなど)	
	5. その他			

※2世帯住宅・長屋も戸建に含まれます。

2 景観まちづくりへの関心についてお伺いします。

問2 景観まちづくりに関心がありますか？
(あてはまるもの1つに○をつけてください。)

1. 大いに関心がある	2. 割と関心がある
3. あまり関心はない	4. 関心はない

3 赤塚四・五丁目地区景観まちづくりプラン骨子(案)の内容についてお伺いします。

「赤塚四・五丁目地区景観まちづくりプラン骨子(案)」について、お答えください。

※景観まちづくりプラン骨子(案)につきましては、その概要版を令和6年3月に、赤塚四・五丁目にお住まいの方全戸に配布しております。

※景観まちづくりプラン：赤塚四・五丁目地区の景観の魅力と課題を明らかにした上で、地区で目指したい景観の姿やその実現に向けた景観まちづくりの方向、さらに具体的な取組方策を示すことで、地区住民、事業者、行政が協働で魅力を活かした景観まちづくりの展開を目指していくための計画です。

※なお、「赤塚四・五丁目地区景観まちづくりプラン骨子(案)概要版」は、区HPでご覧いただけます。右の二次元コードから確認ください。



景観まちづくりプラン について

問3 「赤塚四・五丁目地区景観まちづくりプラン骨子(案)」を知っていましたか？
(あてはまるもの1つに○をつけてください。)

1. 知っており、見たことがある

2. 知っているが、見たことはない

3. 知らなかった

地区の景観の将来像 について

問4 地区の景観の将来像を次のとおり定めていますが、この将来像についてどう思いますか？
(あてはまるもの1つに○をつけ、理由もお答えください)

景観の将来像：変化のある眺めと緑豊かで落ち着いた住宅地の景観

1. とても良いと思う

【そう思われた理由】

2. 良いと思う

3. あまり良くないと思う

4. 良くないと思う

地区の景観まちづくりの方針 について

問5 地区の景観まちづくりの方針を次のとおり定めていますが、これらのうち、重要だ
と思うものはどれですか？（あてはまるもの全てに○をつけてください。）

1. **地形による変化のある眺望を活かした景観づくり**
地形が生み出す坂道や崖線からの見晴らしのいい眺望を日常的に楽しんだり、意外な眺望に出会うことができる景観づくりを進めていきます。
2. **崖線のみどりや農地のみどりに親しむ・楽しむ景観づくり**
ばらばらに存在している崖線や農地を身近に感じ、触れられる景観づくりを進めていきます。
3. **歴史・文化を感じさせる深みのある景観づくり**
歴史の再発見を促し、培われてきた文化に触れることができる深みのある景観づくりを進めていきます。

その他、方針として重要だと感じるものがありましたら、下欄にご記入ください。
（例えば：地域イメージに調和した落ち着いた景観づくり など）

地区の魅力 について

問6 赤塚四・五丁目の景観に関する魅力とを感じるものは次のうちどれですか？
（あてはまるものすべてに○をつけてください）

起伏の豊かな地形が生む変化のある眺め

1.



崖線からの見晴らし



坂道

大小さまざまなみどりが織りなす潤いのあるまちなみ

2.



崖線のみどり



赤塚氷川神社参道の
並木

重層的な歴史が編み出すまちなみ

3.



赤塚氷川神社



清涼寺

地区住民の交流・地区への愛着を育む
様々な活動

4.



赤塚氷川神社の神事



農業体験

その他、地区の魅力とを感じるものがありましたら、下欄にご記入ください。

地区の景観に関する課題 について

問7 赤塚四・五丁目の景観に関する課題とを感じるものは次のうちどれですか？
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

1. 地形の大きな改変により生じた圧迫感の軽減をすることが必要



圧迫感を感じる擁壁もある

2. 眺望を楽しむ視点場づくりが必要



眺望を楽しめる場が少ない

3. みどりの「量」を維持・保全することが必要



近年、緑が減少したところも見られる(○)

4. みどりの「質」のさらなる向上が必要



適切に維持管理されていない緑もある

その他、地区の課題とを感じるものがありましたら、下欄にご記入ください。
(例えば:悪目立ちや自己主張の強い色彩を使用した建物 など)

地区をより魅力的にするための工夫 について

問8 赤塚四・五丁目地区をより魅力的な地区としていくために、景観面で取り組んだ方が
良い工夫は次のうちどれですか？
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

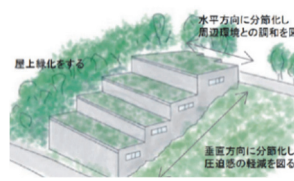
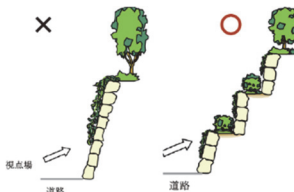
問 8-1 地区全体での工夫

1. 隣近所と協力して美しい庭を連続させる 	2. 建物などに、地域の樹木や土などの風土色と調和した色を用いる ■外壁色 <table border="0"> <tr> <td>5YR 5/2</td> <td>5YR 7/1</td> <td>10YR 7/1</td> </tr> <tr> <td>10YR 8/1</td> <td>2.5Y 7.5/1.5</td> <td>2.5Y 8.5/1</td> </tr> </table> 建物の外壁の推奨色を定めるなど。	5YR 5/2	5YR 7/1	10YR 7/1	10YR 8/1	2.5Y 7.5/1.5	2.5Y 8.5/1
5YR 5/2	5YR 7/1	10YR 7/1					
10YR 8/1	2.5Y 7.5/1.5	2.5Y 8.5/1					
3. 擁壁や屋上の緑化による一体感のあるみどり空間とする 	4. その他（具体的に）						

問 8-2 地形の変化による眺望を活かすための工夫

1. 地形に合わせた建物形状や配置とする 	2. 眺望が得られるような建物形状とする 
3. 坂道からの眺望に配慮して建物などの色彩選定や緑化を行う 	4. その他（具体的に）

問 8-3 崖線の緑や農地に親しむための工夫

1. 緑や農地と調和した建物の配置や色とする 	2. 崖地の大きな建物は分節化し圧迫感を軽減する 
3. 勾配のある擁壁や階段状の擁壁にすることで圧迫感を軽減する 	4. 樹林地や農地と連続した緑化を行う 
5. その他（具体的に）	

問 8-4 歴史や文化を活かした工夫

1. 神社や寺などの周辺では、建物などの形態や色をこれらと調和させる 	2. 擁壁に自然素材などを用いることで歴史資源などと調和させる 
3. 参道の樹木と調和するよう、敷地内の緑化を行う 	4. その他（具体的に）

問9 隣接する景観形成重点地区「板橋崖線軸地区」では、良好な景観を保全し、さらに向上させていくために、建物の形や色、緑化などに関する独自のルールを定めていますが、赤塚四・五丁目地区においても景観に関する独自のルールを定める必要があると考えますか？
(あてはまるもの1つに○をつけ、理由もお答えください)

1. 地区の景観を高めるためのきめ細かなルールが必要	【そう思われた理由】
2. 地区の景観を守るための最低限のルールは必要	
3. ルールを定めるのではなく、住民などの自主的な取組みに任せる	
4. どちらともいえない	

4 これからの景観まちづくりについてお伺いします。

問10 板橋区では、引き続き地区の皆様と景観まちづくりを進めていきたいと考えていますが、景観まちづくりに関するイベントや勉強会があったときに参加したいと思いませんか？
(あてはまるもの1つに○をつけ、理由もお答えください)

1. ぜひ参加したい	【そう思われた理由】
2. 条件が合えば参加したい	
3. あまり参加したくない	
4. 参加したくない	

問11 景観まちづくりに関する活動のうち、興味・関心のある内容はどれですか？
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

地区の特徴でもある地形の魅力を高めるための取り組み

1. 例えば) まちあるきイベント、ルートマップづくり、ガイド育成 など

地区の緑の維持管理を通じて地区の魅力を高める取り組み

2. 例えば) 落ち葉の清掃など日常的な維持管理、そのための仲間づくり、落ち葉を使ったイベント など

地区の歴史を受け継ぐシンボルの樹木の保存の取り組み

3. 例えば) シンボルツリー図鑑づくり、魅力や価値の発信 など

地形・みどり・歴史を活かした建物デザインの取り組み

4. 例えば) 地形などに調和したデザインについての講習・ワークショップ など

5. その他（具体的に：)

5 地区の景観まちづくりに関するご意見などを記入ください。

赤塚四・五丁目地区の景観まちづくりに関して、ご意見やアイデアがありましたら、下欄にご記入ください

アンケート調査は以上になります。ご協力ありがとうございました。